

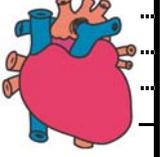
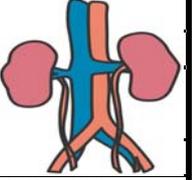
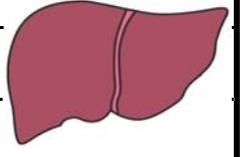
検査結果についての解説

愛媛県立南宇和病院 検査部

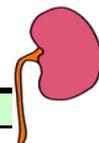


【生化学検査】

項目	名称	基準値	単位	説明
1. 肝機能				
AST	アスパラギン酸 アミトランスフェラ ーゼ(GOT)	8-38	IU/L	肝臓の細胞中に多く含まれる酵素です。
ALT	アラニンアミ トランスフェラーゼ(GPT)	4-44	IU/L	肝機能障害などで上昇します。
LDH	乳酸脱水素酵素	106-211	IU/L	肝臓で作られて、肝臓・胆管・骨などに多く含まれる酵素です。
ALP	アルカリフォスフ ァターゼ	117-340	IU/L	肝・胆道・骨疾患などで上昇します。
T-Bil	総ビリルビン	0.2-1.2	mg/dl	胆汁色素で血中濃度が高くなると黄疸を呈します。
D-Bil	直接ビリルビン	< 0.3	mg/dl	
γ-GTP	γグルタミルトランス ペプチダーゼ	男:16- 84 女:12-48	IU/L	肝・胆道系の病気に対するスクリーニング検査です。アルコール 性肝障害などで上昇します。
CHE	コリンエステラーゼ	213-501	IU/L	肝臓で合成され、血中に分泌されます。肝臓疾患などで低下し、 ネフローゼ症候群・脂肪肝などで上昇します。
TP	総蛋白	6.7-8.1	g/dl	栄養摂取や栄養の吸収状態を表します。
ALB	アルブミン	3.9-4.9	g/dl	
A/G比	アルブミン/ グロブリン比	1.10-1.70		
2. 腎機能				
BUN	尿素窒素	7.0-20.0	mg/dl	肝臓で合成され、腎臓から排泄されます。腎臓の機能が低下し てくると排泄できなくなり血液中に増えてきます。
CRE	クレアチニン	0.4-1.1	mg/dl	
UA	尿酸	男:4.0- 7.0 女:3.0-5.5	mg/dl	尿酸濃度が高い状態が続くと痛風発作が起きたり、尿路結石の 原因にもなります。
3. 無機質				
Na	ナトリウム	135-150	mEq/L	これらは電解質と呼ばれ、腎疾患・ホルモン異常・下痢・嘔吐な どで異常値を示します。
K	カリウム	3.6-5.0	mEq/L	
Cl	クロール	98-108	mEq/L	
Ca	カルシウム	8.2-10.2	mg/dl	
IP	無機リン	2.5-4.3	mg/dl	
Fe	血清鉄	44-188	μg/dl	
4. 脂質				
T-CHO	総コレステロール	125-220	mg/dl	動脈硬化や心臓病などの循環器疾患の指標となります。
HDL	HDLコレステロール	> 40	mg/dl	動脈硬化を防ぐので善玉コレステロールと呼ばれています。
LDL	LDLコレステロール	< 139	mg/dl	基準値を越えてくると心臓冠動脈疾患の危険性が高くなります。
TG	中性脂肪	< 149	mg/dl	コレステロールに次いで動脈硬化の危険因子で、食事により 上昇します。
5. 糖代謝				
GLU	血糖	70-110	mg/dl	糖尿病の指標で血液中のブドウ糖の量を示しています。
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.3-5.8	%	過去1~3ヶ月の血糖のコントロール状態を示しています。糖尿病 のコントロールに重要な指標です。
6. その他				
CK	クレアチンキナーゼ	54-253	IU/L	心筋や骨格筋などの障害を反映します。
AMY	アミラーゼ	37-120	IU/L	膵臓や唾液腺から分泌される酵素です。
CRP	C反応性蛋白	<0.05	mg/dl	炎症や組織の破壊が起こると増える蛋白質です。炎症状態の程 度を表しています。



【一般検査】



項目	名称	基準値	単位	説明
1. 検尿一般検査				
尿定性検査	蛋白	(-)~(±)		腎実質や尿路系疾患などで陽性になります。程度により(±)、30mg/dl、100mg/dl、300mg/dlで表します。
(試験紙法)	糖	(-)		糖尿病・膵炎などで陽性になります。程度により(±)、100mg/dl、250mg/dl、500mg/dl、1000mg/dlで表します。
	ケトン体	(-)		嘔吐や下痢、飢餓で陽性になります。
	潜血	(-)		尿路系の出血や腎結石、腫瘍により陽性になります。程度により(±)~(3+)で表します。
	ウロビリノーゲン	(正)		閉塞性黄疸などで陰性になります。肝機能障害・便秘・溶血性貧血などで陽性になります。
	ビリルビン	(-)		肝臓機能異常、特に胆道閉塞により陽性になります。
	白血球反応	(-)		尿路感染症になった時に陽性になります。
	亜硝酸塩	(-)		尿路感染症になった時に陽性になります。
2. 検便検査				
潜血(Hb法)	ヘモグロビン法	(-)		陽性の場合、大腸など消化管内出血や大腸癌が疑われます。

【血液検査】

項目	名称	基準値	単位	説明
1. 末梢血液一般検査				
WBC	白血球数	3500-9800	/ μ l	白血球は病原体から体を防御します。感染症や炎症にて増減します。
RBC	赤血球数	男:427-570 女:376-	万/ μ l	血液中の赤血球の数です。貧血や多血症等の診断に用います。
HGB	血色素量	男:13.5-17.6 女:11.3-	g/dl	血液中のヘモグロビン濃度です。ヘモグロビンは酸素を運ぶ働きがあり、貧血などの目安になります。
HCT	ヘマトクリット値	男:39.8-51.8 女:33.4-	%	一定量血液中に含まれる赤血球の割合(%)です。貧血や多血症の目安になります。
PLT	血小板数	男:13.1-36.2 女:13.0-	万/ μ l	血小板は出血を止める働きがあります。減少すると出血が止まりにくくなります。
Retic	網状赤血球数	男:0.2-2.7 女:0.2-2.6	%	未熟な赤血球の数です。赤血球を作る能力と合わせて増減します。
2. 出血・凝固検査				
出血時間		5分以内	分・秒	血小板の機能異常を調べる検査です。手術前検査です。
PT	プロトロンビン時間	80-120	%	血液の凝固機能(主に外因子系)を調べる検査です。
(INR)		0.9-1.1		ワーファリンやヘパリンなどの薬剤コントロールの指標になる、施設間差の少ない計算値です。

2011.6 作成

南宇和病院の緊急検査項目の基準値と大まかな解説です。
これらの検査の異常値結果からより精密な検査が行われます。
個人差等がありますので、ご不明な事がありましたら主治医までご相談ください。